

藤沢周平ゆかりの地 (用心棒日月抄)

鶴岡市出身の藤沢周平は、江戸時代を舞台に庶民や下級武士の哀歓を描いた時代小説作品を多く残しています。その作品の舞台となった地は、都内各所に多く残っており、その地を訪れることでより深く作品を感じることができます。

<「用心棒日月抄」>

東北の小藩を諸般の事情で脱藩した青江又八郎は、寿松院裏の長屋に住み、口入れ屋の吉蔵から用心棒の仕事を紹介してもらい浪人暮らしをしていました。国元からの刺客に襲われたり、赤穂浪士に加担することになったりと江戸の下町で波乱万丈な毎日を送る青江又八郎の「用心棒」暮らしを描いた時代小説です。

○寿松院裏・・・ 寿松院裏の嘉右衛門店が又八郎の住まい。夜鷹斬りに登場する「おさき」が無縁仏として葬られたのもここ。

○回向院・・・ 又八郎の初仕事は犬のお守り役。朝と夕、回向院の境内を散歩させる。

○長江長左衛門の道場・・・ 道場の代稽古の仕事を受ける。長江は実は、浅野家浪人の堀部安兵衛である。

○吉良邸・・・ 又八郎と細谷源太夫が用心棒に雇われる。

藤沢周平氏略歴

昭和 24 年 山形師範学校卒業後、鶴岡市の湯田川中学校に赴任
昭和 26 年 集団検診で肺結核が見つかり、新学期から休職
昭和 37 年 時代小説雑誌に藤沢周平の名で作品を執筆
昭和 46 年 「溟い海」で第 38 回オール読物新人賞受賞
昭和 48 年 「暗殺の年輪」で第 69 回直木賞受賞
昭和 61 年 「白き瓶」で第 20 回吉川英治文学賞受賞
平成元年 「市塵」で芸術選奨文部大臣賞受賞
第 37 回菊池寛賞受賞
平成 7 年 紫綬褒章受章
平成 8 年 20 期 11 年務めた直木賞選考委員を辞任
平成 9 年 1 月 26 日死去。69 歳
山形県県民栄誉賞

◆寿松院 青江又八郎が住んでいた場所

東京都台東区鳥越 2-13-2

都営地下鉄 浅草線「蔵前駅」出口A3より徒歩5分

◆回向院 用心棒で犬の散歩をしていた場所

東京都墨田区両国 2-8-10

JR 総武線「両国駅」東口より徒歩8分

◆堀部安兵衛道場跡 又八郎が代稽古の仕事を受けた長江長左衛門の道場

東京都墨田区立川 3-15-6

都営地下鉄 新宿線「菊川駅」出口A1より徒歩11分

◆吉良邸跡 又八郎と細谷源太夫が用心棒に雇われた場所

東京都墨田区両国 3-13-9

JR 総武線「両国駅」東口より徒歩8分



寿松院



忠臣蔵案内板



吉良邸跡



回向院



堀部安兵衛道場跡



作成：2019.8.30